

第8回「地域フォーラム」概要

開催テーマ 「地域のビジョンづくり」

日時 令和元年 11月3日（日・祝）13時30分～15時30分

会場 川上総合センター やまぶきホール

資料説明	荒井奈良県知事
	<p>奈良新「都」づくり戦略案は、奈良県政の歩むべき道筋を探索するものです。</p> <p>奈良県は、全国トップの県外就業率であり、急激な人口減少・高齢化が襲っています。このようなベッドタウンの諸課題に対応するため、9つの戦略により展開したいと考えています。</p> <p>例えば、雇用の場を確保するため、企業誘致に取り組み、全国11位、近畿で2位の状況です。引き続き誘致を進めたいと考えています。</p> <p>観光分野では、吉野山にリフトの設置等を検討している他、長谷寺や三輪の参道、宇陀松山通りの整備等、各地域を魅力ある観光地にするまちづくりの取組に対して支援しています。</p> <p>安全・安心の分野では、大災害の時にも救難・救助・復興ができる大規模広域防災拠点の整備を五條市で検討しています。</p> <p>健康分野では、健康寿命日本一を目指し、野菜摂取や運動の推進により、がんを予防するなど住民の健康生活の定着を図っていききたいと考えています。</p> <p>農業分野では、農地を集約して特定の作物を栽培し、価値を上げる特定農業振興ゾーンの整備を進めており、各地へ広げていききたいと考えています。また、食の振興では、N A F I Cの卒業生が丹生川上神社の下社や曾爾村でも開業されました。今後も一層食と農の振興を図っていききたいと思えます。</p> <p>林業分野では、防災、生態系、レクリエーション等の観点から山を維持するため、森林環境管理制度を条例化し、制度を担う奈良県版フォレスターを養成するフォレストアカデミーの設立を南和地域で進めたいと考えています。</p> <p>今後とも財政に気を配りながら、奈良県発展の事業を進めていききたいと考えています。</p>

資料説明	太田五條市長
	<p>五條市では、5つの條になぞらえて「五條市ビジョン」を策定したいと考えています。</p> <p>例えば、「子どもを育てたいまちづくり」では、五條高校賀名生分校を農業に特化・再編し、新入生が大幅に増加しました。家族の移住定住を考慮した宿舎の整備も進め、農業の担い手育成につなげたいと思えます。</p> <p>「安心して定住できるまちづくり」では、広域防災拠点を整備し、紀伊半島全体の防災力強化を目指します。</p> <p>「地域資源を活かした産業のまちづくり」では、国際化の進展を見据え、五條市の柿を世界に発信します。</p> <p>今後、民間や行政間の連携を進め、各種政策を柔軟に展開していきます。</p>

資料説明	杵本下市町長
<p>下市町では、過疎化、少子高齢化等の課題を抱えています。</p> <p>地域が元気になるため、自ら考え、行動する「下市町元気印集落事業」を始めました。</p> <p>例えば、集会所や空き家等を活用したピザハウスやゲストハウスでは、地域内消費や新たな地域交流の場所、宿泊施設としてとても人気です。</p> <p>また、小中一貫校の整備を進めており、学校関係者や住民、有識者等多様な人材が参画する協議会を設け、教育環境全般にわたる話し合いを行っています。</p> <p>今後も様々な取組を続けることで下市町を元気に、奈良県を元気に、日本を元気にしていきたいです。</p>	

資料説明	車谷天川村長
<p>天川村では、四季折々の自然や、世界遺産霊場大峰山など観光資源が豊富です。多くの方々に楽しんでいただくため、路線バスの運行や、みたらい溪谷の再開発計画、特産品のブランド化など、村内消費の拡大に取り組んでいます。</p> <p>また、豊かな自然を守るため、条例による河川でのバーベキューの全面禁止や清掃にも力を入れています。</p> <p>農林水産業では、「四季なりイチゴ」の栽培、キハダの植栽、トラフグ養殖などにも取り組んでいます。</p> <p>新たな産業の創造や雇用の場を確保して、子育て環境や高齢者が安心して暮らせる環境をつくっていききたいと思います。</p>	

資料説明	更谷十津川村長
<p>十津川村では、第5次十津川村総合計画を策定し、村づくり委員会において地方創生の議論を進めています。</p> <p>生き続ける森林の育成として、家具職人の育成等の6次産業化を進め、村の林業振興、雇用の場づくりを進めています。神秘性のある秘境への旅人招致として、十津川温泉郷等の重要な観光資源を活用し、訪れたいと思える魅力的な観光地を目指します。住み続け住みおえる暮らしとして、介護度に応じて、「高森のいえ」を利用いただき、1人暮らしの高齢者の不安解消に取り組んでいます。</p> <p>村民の声を聞きながら、みんなが笑顔になれる村づくりを目指したいと思います。</p>	

資料説明	栗山川上村長
<p>川上村では、住み心地を整えるため、暮らしと健康を支える（一社）かわかみらいふの運営や、川上産吉野材の一貫供給体制と情報拠点の構築を目指す（一社）吉野かわかみ社中の運営等、民間や村民と連携した取組を展開しています。</p> <p>また、川上 i n g 作戦や、地域おこし協力隊等の取組を通して、若者定住・関係人口の構築を進めています。今、最も力を入れているのが保育園・義務教育学校の設立であり、社会に対応できる子どもたちを育て、教育の村を進めていきます。</p> <p>今後も水源地の村として、都市にはない豊かな暮らしを築くことを目指します。</p>	

資料説明	水本東吉野村長
<p>東吉野村では、生活を支える雇用創出として、柚子を奨励作物とし、柚子の里づくりを進めるとともに、観光・買い物・雇用・交流といった多機能を併せ持つ拠点として「小さな道の駅ひよしのさとマルシェ・加工センター」を整備しました。</p> <p>また、新しい働き方の1つとして、都会の若いクリエイターを村に呼び込む「クリエイティブヴィレッジ構想」を推進しています。古民家を改修したシェアオフィス「オフィスキャンプ東吉野」を開設し、多くの若者が移住するきっかけづくりをしています。</p> <p>今後も、あらゆる施策を移住定住につなげ、笑顔あふれる木と水のふるさと東吉野の創生に向けて精進したいと考えています。</p>	